

異常気象リスクマップを拡充しました

ー 全国約1,300地点の「30年に1回の大雨（24時間降水量）」などを追加 ー

気象庁では、長期間にわたる極端な大雨の発生頻度の実態などについて、「異常気象リスクマップ」としてホームページに掲載しています。

平成18年度には、過去100年以上にわたる気象庁の観測データを用いて推定した全国51地点における「100年に1回の大雨」やアメダスの平年値を用いた「10年に1回の少雨」などを、わかりやすい図表形式で公表しました。

このたび、全国約1,300のアメダス地点における30年に1回および50年に1回の大雨の値（※）を示すリスクマップなどを追加しました。全国各地において、どの程度の量の大雨が降りうるかという情報は、防災計画の策定や防災知識の普及などに役立てることができます。

「異常気象リスクマップ」のページは、気象庁ホームページのトップページから、[気象統計情報](#) > [地球環境・気候](#) > [異常気象リスクマップ](#)と選択してください。

別紙に、新しい「異常気象リスクマップ」の一覧と図のサンプルを示します。今後も利用者からの要望などを踏まえ、対象要素を増やす予定です。

※任意の毎正時における24時間の合計降水量による大雨の値を掲載しています。「任意の毎正時における24時間降水量」の方が、1日毎に0時で区切られる「日降水量」と比べておよそ1～3割大きくなります。

[この件に関する連絡先：気象庁 地球環境・海洋部 気候情報課 03-3212-8341 内線 3157]

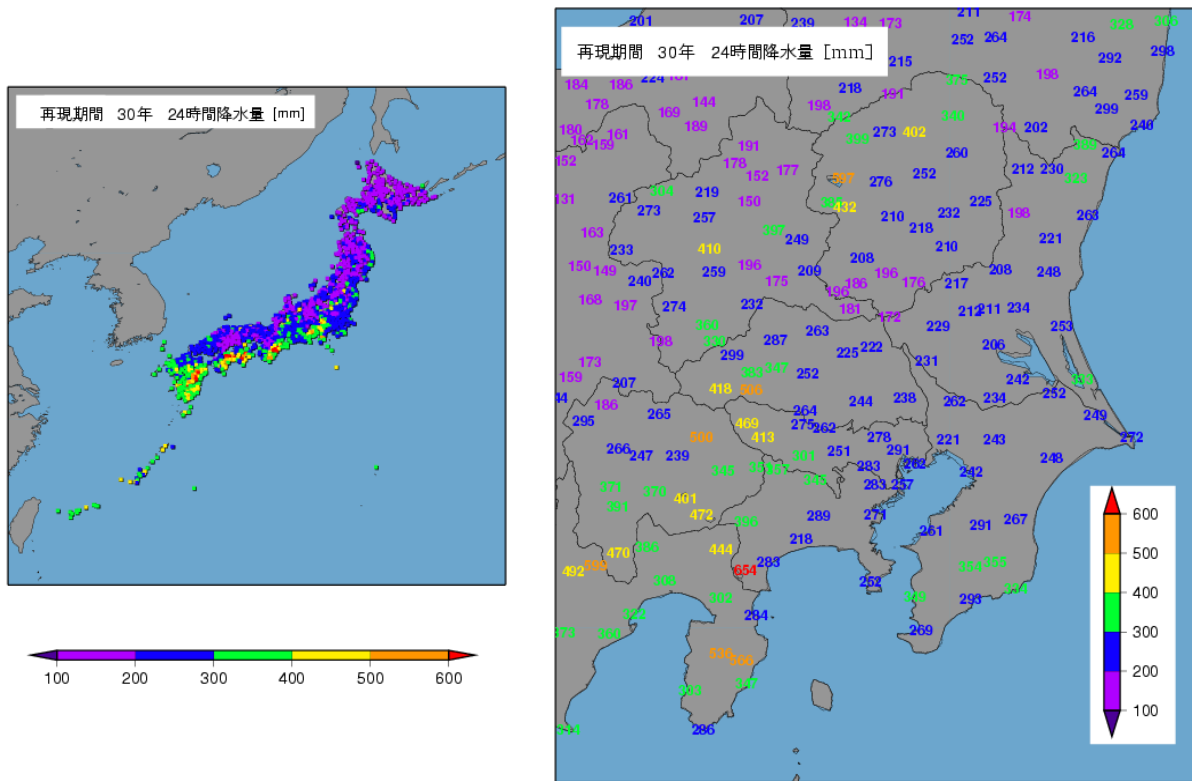
異常気象リスクマップの一覧（下線部がこのたび追加した情報）

◎大雨のリスクマップ

全国 51 地点	全国約 1300 のアメダス地点
<ul style="list-style-type: none"> • 30 年、50 年、100 年、200 年に 1 回の大雨（日降水量） • 日降水量 100mm 以上および 200mm 以上の年間日数の変化傾向 • 日降水量 100mm 以上の月別日数の変化傾向 • <u>50 年、100 年に 1 回の大雨（日降水量）の変化傾向</u> • <u>日降水量 100mm および 200mm の再現期間の変化傾向</u> • 年降水量の変動幅の変化傾向 	<ul style="list-style-type: none"> • <u>30 年、50 年に 1 回の大雨（24 時間降水量）</u> • 日降水量 100mm 以上の日数の平年値 • <u>30 年に 1 回の値（24 時間降水量）を超える大雨の出現率の変化傾向</u>

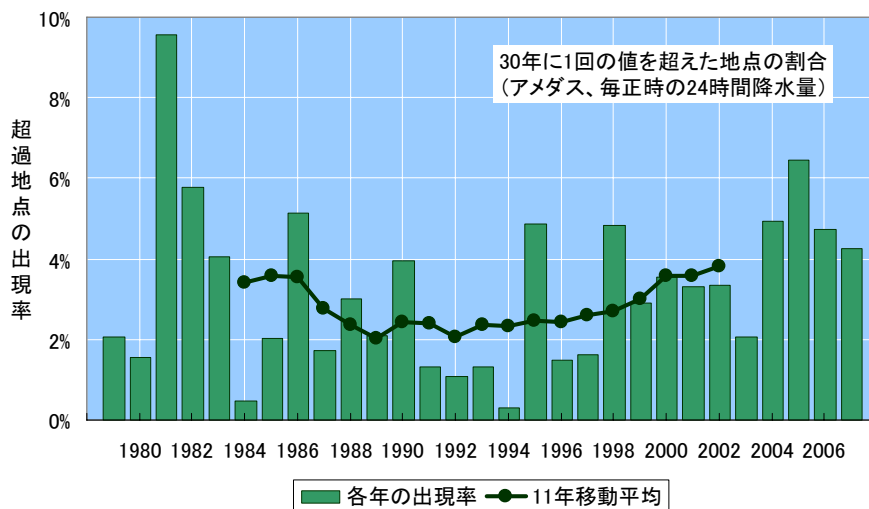
◎少雨のリスクマップ

全国 51 地点	全国約 1300 のアメダス地点
	<ul style="list-style-type: none"> • 10 年に 1 回の少雨（月降水量、年降水量）



アメダスデータにもとづいた30年に1回の24時間降水量の分布図

1976～2007年のアメダス地点の毎正時の24時間降水量の観測値をもとに推定した30年に1回の値。 左：全国図、右：関東地方拡大図



30年に1回の24時間降水量を記録したアメダス地点の出現率の変化傾向

1979～2007年における30年に1回の24時間降水量を超える値を観測したアメダス地点の出現率。棒グラフ：各年の値、折れ線グラフ：11年移動平均値